

環境調査結果のお知らせ

平成25年5月8日午前11時から野見湾・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温21～22℃、塩分33～34、溶存酸素濃度6～8mg/lでした。
透明度は6～10mで、有害種の可能性があるカレニア・パピリオナセアが少数確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は20.8～22.2℃、塩分は32.8～33.8でした。前回調査時(H25.4.28)と比較して、水温は3℃上昇、塩分は1上昇していました。

溶存酸素濃度(表3)

湾内の溶存酸素濃度は6.45～7.78mg/lで、前回より1～2mg/l低下していました。

プランクトン(表4・5)

透明度は非常に良く、6.4～9.4mでした。

検鏡の結果、カレニア・パピリオナセアが最高3cells/ml確認されました。本種の毒性は良く分かっておりませんが、他県では赤潮発生時に被害が生じたことがありますので注意が必要です。また、1cell/ml未満ではありますが、コクロディニウム・ポリクリコイデスが確認されています。今後の動向に注意が必要です。その他、養殖魚の餌食いを悪化させる危険性のあるケラチウム・フルカも少数確認されています。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲む等して、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

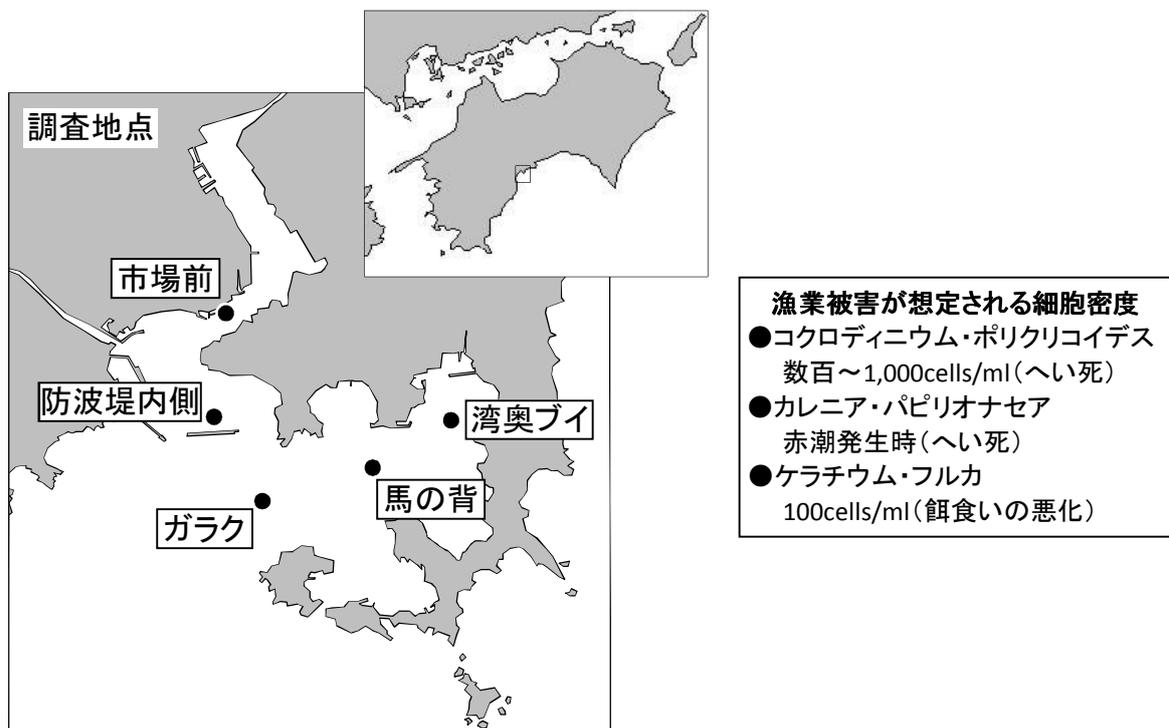


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H25.4.28)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	22.0	22.2	22.0	21.3	22.0	18.8	3.3	20.8
2m	21.7	22.2	21.9	21.3	21.9	18.8	3.1	20.8
5m	21.5	21.7	21.8	21.6	21.6	18.6	3.0	20.9
10m	21.4	21.5	21.8	21.7	21.6	-	-	-
B-1m	20.9	20.8	21.8	20.8	21.2	-	-	20.8

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H25.4.28)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	33.6	33.8	33.7	32.8	33.7	32.9	0.8	32.3
2m	33.7	33.8	33.7	33.3	33.7	33.2	0.6	32.7
5m	33.7	33.8	33.8	33.6	33.7	33.5	0.2	33.1
10m	33.7	33.8	33.8	33.8	33.8	-	-	-
B-1m	33.6	33.6	33.8	33.5	33.7	-	-	33.6

表3 溶存酸素濃度(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H25.4.28)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	7.52	7.19	6.76	7.78	7.16	8.70	▲ 1.54	8.03
2m	7.61	7.15	6.70	7.69	7.15	8.60	▲ 1.44	8.03
5m	7.64	6.45	6.76	7.54	6.95	7.95	▲ 1.00	7.91
10m	7.45	6.82	7.01	7.34	7.09	-	-	-
B-1m	7.29	6.72	7.05	7.39	7.02	-	-	7.10

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.3	24.6	15.2	15.9	10.9
透明度	6.4	8.5	9.4	7.2	3.5
前回透明度	3.2	3.5	3.5	-	-

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ パピリオナセア	ケラチウム・ フルカ	ジャイロディニウム 属 (ドミナンス、 スピラレ)	ケイ藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	3	190
	2m	3	0	1	350
	5m	1	1	1	420
馬の背	0m	0	0	2	130
	2m	0	0	0	40
	5m	2	0	0	200
ガラク	0m	0	0	1	80
	2m	0	0	0	290
	5m	0	0	0	80
津波防波堤 内側	0m	0	1	3	230
	2m	1	0	2	300
	5m	0	0	0	90
市場前	0m	0	2	3	130
	2m	0	0	1	350
	5m	0	0	1	80